

# パルde子育て



第3号 2009年4月

## 父親のゆったりした優しいまなざしが一番！！

厳しさの増す格差社会の中で仕事に励んでおられるお父さん、お仕事ご苦労様です。

お子さんとかかわる時間は、おありですか？「たまの休みには遊んでやらないとって思うのですが、何をしてやればよいのか困るんですよね」「ほとんど子どもの寝顔との対面が多いですよ。でもあの寝顔を見ていると癒されますね」（そうですね）

そんなに取り立てて考えなくてもいいと思いますよ。父親って、ゆったりした気持ちで座っているだけで、子どものほうから遊びに来てくれますから。自然体でお相手してあげれば充分だと思います。

いろんな発見があって親子ともどもリフレッシュできるのでは？

お母さんもいつの間にか加わっていたりして…… 短時間でも充分家族の楽しいひと時になります。やはりお父さんは家族の要なんですね。だからといってあんまりガンバリすぎないでくださいね。

会社の様子や自分の仕事の内容など家族に伝えていきますか？ 弱音を吐くように思われがちですが、これは大事なことです。時には、妻の思いや悩みも聞いてあげることも大切ですよね。

互いに思いや考えが違っていることのほうが多いと思います。違っているから話し合い、より理解しようとする思いが強くなっていくのではないのでしょうか？

ケンケンガクガクの日があっても、今日一日、夫も妻も忙しく働いたことへの、お互いの労をねぎらう言葉「おかえり」「ただいま」「お疲れさま」「ご苦労さま」などを忘れないようにしましょう。



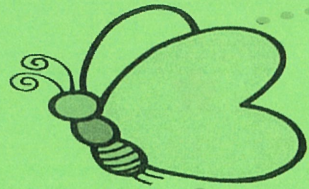
子どもは日々発達し、一人ひとり違います。毎日接しているお母さんも戸惑うことが多く、おもしろい反面、気苦労もたいへんです。言葉も荒くなりがちですね。その点お父さんは、あまり動揺せず、まず様子を見てから接することが多いように思います。

2歳児の男の子、お母さんに叱られて長泣きしている子に、お父さんが「何で泣いてんの？」と声をかけると「〇×※□…？」と何やら話している様子。「わかった 泣かんでええ」と抱っこしてもらってニコニコ。そして叱られた訳をやさしくきちんと話してあげてくださいね。

お父さんのゆったりしたまなざしは、家族みんなを優しくしてくれます。

急がず、ゆっくり、親も子も育ち合っていきましょう。





## パルちゃん広場 つるみ店がはじまりした



パルコープのお店での初めての広場です。09年3月で8回目を迎えます。この地域は、若い組合員さんが多く、毎回新しい参加がたくさんあります。外遊びができないときなどちょっと立ち寄って親子一緒にほっとできる場があったらいいなぁと始まりましたが、お母さん同士の子育てや世間話が盛りあがったり、子どもたちが一緒に遊びを楽しめる場所ともなっています。「毎週あれば」「何か催し物があれば」などリクエストをいろいろもらいます。来た人が毎日の子育ての中で、少し余裕のある時間が持てたからだだと前向きに考えて、続けていく大切さを実感しています。

“かわいいおもちゃがあり、親子一緒に遊べる”“来てよかった”“今度はいつかな？”と楽しみになる広場をめざしています。帰りには生協のお店でお買い物もできるのがこの広場のもう一つのメリットです。

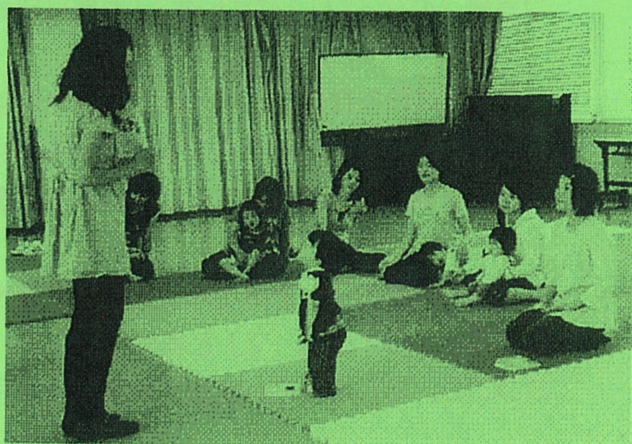
毎回ぽっかぽか広場には、小さな子どもさんを連れられたお母さんがたが来場され、いつもすごく和やかな雰囲気です。普通のスーパーではありえない光景でこれもつるみ店の大きな特徴になっていると思っています。

毎回必ずというわけではないですが、先日も節分前に「巻き寿司の試食」をお持ちし食べていただいたりして、ぽっかぽか広場をきっかけに、お店を知っていただくというのでもいいのではないかと考えています。ぽっかぽか広場の時には、特に売場の通路がせまくなっていないか、ベビーカーで通りやすいかを気をつけるようにしています。今後もたくさんの新しい方が、この広場で出会い、地域のコミュニケーションの場として広がっていくことを楽しみにしています

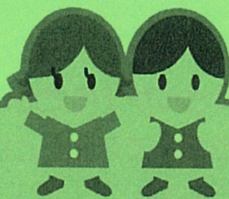
パルコープつるみ店 店長 久野哲寛



↑ パルちゃん広場ぽっかぽか つるみ店



↓ パルちゃん広場ぽっかぽか あべの



## パルちゃん広場ぽっかぽか

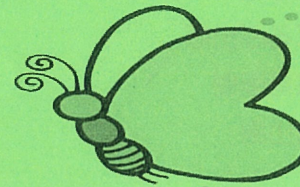
「ひとりで子育てからみんなで子育て」をテーマに親子がともに「ホッ」とし、リフレッシュでき、子ども達の成長を共に喜び 元気な心で子育てができるよう スタッフ全員が心を合わせて活動しています



## 守 口

スタートした当初は、母と子2人での参加がほとんどでした。最近ではあかちゃんを抱っこしているお母さんの側に(〇)の子どもが駆け込んでくる様子。親子3人での参加です。

おもちゃ遊び、歌あそび、手あそび、絵本を読んでもらったりとお家での遊びとは、ちょっと違う、仲間の中での遊びの輪が広がっています。お母さんへのコーヒータイムも大人気、みんなでお片付けて楽しく広場を終わります。



## パルちゃん広場ぽっかぽかの紹介です



## 阿倍野

パルちゃん広場・阿倍野が始まって4年が経過、子ども連れスタッフも誕生しました。ママはおしゃべりの花を咲かせながらリフレッシュ！子どもたちはたくさんのおもちゃと広い会場で大はしゃぎ！

親子リトミック、読み聞かせ、手遊び、開催月に合わせた工作など親子ともに楽しい時間を過ごしています。

福祉フェアに参加し、他のグループや講座の方々と交流もできるようになっています。

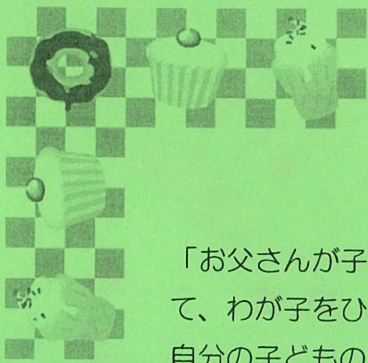


## 寝屋川

「パルタイムを見て遠い所から来た人」「広場にきた友だちから誘われて」などたくさんの親子が参加しています。

季節に合わせた工作や手遊び、親子ふれあい遊び、紙芝居や絵本などを楽しんでいます。広場参加者からスタッフになった人は、参加者目線で意欲的に広場を盛り上げ、スタッフ手作りの昼食も大好評です。「月1回みんなで昼食を食べゆくり過ごす」という流れも定着してきた寝屋川のパルちゃん広場で～。





## パパといっしょに絵本で遊ぼう！

「お父さんが子どもと読む本」と言っても特別なものはないのです。お父さんが好きな絵本を持って、わが子をひざの中に包み、同じ絵本の中で“いっしょに遊ぶ”という気持ちが大切なのです。自分の子どもの頃を思い出し、どうぞわが子とお楽しみあれ。

子育てサポートステーション準備会、おすすめ絵本の一例を紹介します。

### 0～2歳幼児

「いないいないばあ」	瀬川康男／絵	童心社
* 「ぎーこん ぎーこん」	とよたかずひこ	岩崎書店
「でてこい でてこい」	はやしあきこ／作	福音館書店

### 幼児、低学年

「おとうさんだいすき」	司 修／作・文・絵	文研出版
「かいじゅうたちのいるところ」	モーリス・センダック／作	
	じんぐうてるお／訳	富山房
* 「タンタンのはんかち」	いわむらかずお	偕成社
* 「14ひきのひっこし」	いわむらかずお	童心社
「ハハハの小天狗」	飯野和好／作	ほるぷ出版
「つきよ」	長 新太／作	教育画劇
「ふたり」	瀬川康男／作	富山房

### 低、高学年

* 「すっぽんぼんのすけ」	もといたいずみ／作 荒井良二／絵	鈴木出版
「ジュマンジ」	クリス・パン・オールズバーグ／作	ほるぷ出版
	へんみまさなお／訳	
「まさ夢 いちじく」	c・v・オールズバーグ／絵と文	河出書房新社
	村上春樹／訳	
「算数の呪い」	ジョン・シェスカ／文 レイン・スミス／絵	
	青山 南／訳	小峰書店

\*印は、シリーズ本になっています。

### この指とまれ！

パルちゃん広場ぽっかぽかでは、広場運営に携わってくださるボランティアスタッフを募集しています。親子で一緒にたのしめる場、お母さんどうし、スタッフ一緒にあれこれ交流して息抜きができる場を作ってみませんか？ もちろん子どもを連れてもOK！先輩ママもOK！

子育て真っ最中のママが笑顔になれる広場をつくらうという気持ちとやる気のある方、大歓迎です。

\*お問い合わせは右記まで

### お問い合わせ先

組合員活動サポートセンター

TEL 0120-299-244

FAX 0120-299-230

### 発行

2009年4月

おおさかパルコープ

子育てサポートステーション準備会

